

研究者プロフィール

一般科目 (理科系) Dept. of Liberal Arts (Natural Science and Mathematics)

—一般位相幾何学 General Topology—

菰田 智恵子 KOMODA Chieko [学位：博士(理学)]

研究業績 (論文・著書・その他の活動)



- [1] T. Kimura and C. Komoda, Weakly infinite-dimensional compactifications and countable-dimensional compactifications, *Commentations Mathematicae Universitatis Carolinae* 49, 1 (2008), 147-154.
- [2] T. Kimura and C. Komoda, Spaces having a compactification which is a C-space, *Topology and its Applications*, 143 (2004), 87-92.
- [3] C. Komoda, Sum theorems for C-spaces, *Scientiae Mathematicae Japonicae*, 59 (2004), 129-135.

次元は $0, 1, 2, \dots, \infty$ の値をとる。 ∞ の値をとる空間は無有限次元空間とよばれる。 一般の線型位相空間を例に挙げれば、有限次元の時は、ユークリッド空間なので、さほど興味深い研究対象ではないが、無限次元のヒルベルト空間は大変興味深い研究対象である。 私の研究は、無限次元空間のひとつである C-空間の研究である。 C-空間よりもやや弱い概念として A-弱無限次元空間がある。 A-弱無限次元空間は、すでに様々な研究者によって多くの研究がなされている。 しかしながら、コンパクト距離空間に対してさえ両者が一致するかどうかは現在にいたっても知られていない。 私は次元論における主要な問題である写像定理およびコンパクト化定理の問題を研究することにより、C-空間と A-弱無限次元空間の間のギャップに迫っていきたいと考えている。

研究分野キーワード

次元論, コンパクト化